平成23年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年２月７日

上 場 会 社 名　　アンドール株式会社　　上場取引所　大
コ ー ド 番 号　　４６４０　　URL　http://www.andor.co.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)笹淵　裕司
問合せ先責任者　(役職名)管理部長　　(氏名)齊藤　征志　　TEL 03(3243)1711
四半期報告書提出予定日　　平成23年２月14日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

1.　平成23年３月期第３四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第３四半期	1,375	45.1	49	―	55	―	79	403.2
22年３月期第３四半期	948	△35.3	△107	―	△25	―	15	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年３月期第３四半期	15　43	―
22年３月期第３四半期	3　07	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年３月期第３四半期	1,388	742	53.5	143　37
22年３月期	1,165	665	57.1	128　51

(参考)　自己資本　　23年３月期第３四半期　　742百万円　　22年３月期　　665百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年３月期	―	0　00	―	0　00	0　00
23年３月期	―	0　00	―		
23年３月期(予想)				0　00	0　00

(注)　当四半期における配当予想の修正有無　：　無

3.　平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日　～　平成23年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	1,850	41.0	90	―	100	―	120	278.7	23　16

(注)　当四半期における業績予想の修正有無　：　有

4.　その他（詳細は、【添付資料】P.３「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　　：　無

新規―社（―）、除外―社（―）

（注）　当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　有

（注）　簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

②　①以外の変更　　：　無

（注）　「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年３月期３Ｑ	5,184,140株	22年３月期	5,184,140株
②　期末自己株式数	23年３月期３Ｑ	3,841株	22年３月期	3,241株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年３月期３Ｑ	5,180,299株	22年３月期３Ｑ	5,180,866株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）２ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
2.　その他の情報 …… 3
(1) 重要な子会社の異動の概要 …… 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
3.　四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書 …… 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 9
(5) セグメント情報 …… 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなど回復基調が見られましたが、厳しい雇用情勢や輸出及び生産が減少傾向にあるなど依然として厳しい経済状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、専門であるCAD分野でのパッケージソフトウェアの開発・販売および総合エンジニアリングビジネスとして技術者のアウトソーシングサービス、受託開発を大手ユーザー向けに行っております。

当第３四半期連結累計期間につきましては、売上高は1,375,522千円（前年同期比45.1％増）となり、営業利益が49,722千円（前年同期は営業損失107,987千円）となりました。経常利益は55,787千円（前年同期は経常損失25,666千円）となりました。

事業業績に応じた人件費コストの見直し等により、特別利益は37,691千円の計上となり、その結果、四半期純利益は79,952千円（前年同期比403.2％増）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようになっております。

Ⅰ　プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、２次元CADソフト「CADSUPER FXⅡ」３次元統合CADシステム「CADSUPER　Works」「シンクライアントCADシステム」等を主力商品として取り扱っております。

システム商品販売としては、仕入商品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業に努めるソリューション営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

以上の結果、この事業の売上高は277,961千円となり、営業利益は44,201千円となりました。

Ⅱ　エンジニアリングサービス事業

企業での生産プロセス全般にわたり豊富な実務経験を持った技術者がシステムの受託開発からアウトソーシングサービス、製造分野での効率化を図るコンサルティングサービスを行っております。

この事業の売上高は1,079,236千円となり、営業損失は2,000千円となりました。

Ⅲ　不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

この事業の売上高は18,324千円となり、営業利益は7,522千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加（315,881千円から341,235千円へ）25,354千円、受取手形及び売掛金の増加（273,562千円から298,429千円へ）24,866千円、ソフトウェア仮勘定の増加（6,328千円から23,367千円へ）17,039千円、投資有価証券の増加（84,700千円から201,316千円へ）116,616千円及びのれんの増加33,890千円等により、前連結会計年度末に比べ222,520千円増加の1,388,336千円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加（42,191千円から75,382千円へ）33,190千円、短期借入金の増加30,000千円、１年内返済予定の長期借入金の増加（33,240千円から55,440千円へ）22,200千円、長期借入金の増加（211,390千円から245,430千円へ）34,040千円及び退職給付引当金の増加（64,167千円から99,044千円へ）34,876千円等により、前連結会計年度末に比べ145,624千円増加の645,627千円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少（4,686千円から1,696千円へ）2,990千円があったものの、利益剰余金の増加（159,912千円から239,865千円へ）79,952千円等により、前連結会計年度末に比べ76,896千円増加の742,709千円となり、自己資本比率は53.5％となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年３月期の通期連結業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間における業績を勘案し、平成22年５月17日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

前連結会計年度末まで、当社の100%連結子会社であった特定子会社アンドールプロテック株式会社は、平成22年４月１日付で当社を存続会社とし、当社の特定子会社アンドールプロテック株式会社を消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、第１四半期連結会計期間において当該特定子会社が消滅いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

１　一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第３四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

２　法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

３　棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

１　「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第１四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年３月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号　平成20年３月10日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより当第３四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ3,035千円増加しております。

２　「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより当第３四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ217千円減少し税金等調整前四半期純利益は1,499千円減少しております。

３　「企業結合に関する会計基準」等の適用

第１四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号　平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号　平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年12月26日）、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成20年12月26日）を適用しております。

４　表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用に伴い、第３四半期連結累計期間及び第３四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	341,235	315,881
受取手形及び売掛金	298,429	273,562
有価証券	7,574	7,055
仕掛品	9,446	―
貯蔵品	7,033	7,696
繰延税金資産	5,005	11,399
その他	44,543	45,723
貸倒引当金	△205	△330
流動資産合計	713,063	660,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	133,882	135,505
土地	189,346	189,346
その他（純額）	2,485	1,853
有形固定資産合計	325,713	326,705
無形固定資産		
ソフトウエア	41,878	46,745
ソフトウエア仮勘定	23,367	6,328
のれん	33,890	―
その他	3,219	2,826
無形固定資産合計	102,356	55,900
投資その他の資産		
投資有価証券	201,316	84,700
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	485	530
繰延税金資産	11,033	9,693
その他	42,167	35,098
貸倒引当金	△8,498	△8,498
投資その他の資産合計	247,202	122,222
固定資産合計	675,272	504,828
資産合計	1,388,336	1,165,815

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,382	42,191
短期借入金	30,000	―
1年内返済予定の長期借入金	55,440	33,240
未払法人税等	3,389	14,973
前受金	28,214	37,970
賞与引当金	19,802	41,152
その他	82,782	43,389
流動負債合計	295,010	212,917
固定負債		
長期借入金	245,430	211,390
繰延税金負債	―	3,386
退職給付引当金	99,044	64,167
役員退職慰労引当金	4,626	5,688
その他	1,516	2,452
固定負債合計	350,617	287,085
負債合計	645,627	500,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	239,865	159,912
自己株式	△742	△675
株主資本合計	741,012	661,125
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,696	4,686
評価・換算差額等合計	1,696	4,686
純資産合計	742,709	665,812
負債純資産合計	1,388,336	1,165,815

(2) 四半期連結損益計算書

【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）
売上高	948,168	1,375,522
売上原価	790,136	1,040,490
売上総利益	158,032	335,032
販売費及び一般管理費	266,019	285,309
営業利益又は営業損失（△）	△107,987	49,722
営業外収益		
受取利息	1,084	673
受取配当金	491	496
固定資産賃貸料	585	585
還付金	70	274
助成金収入	84,007	3,610
持分法による投資利益	－	5,045
雑収入	1,150	230
営業外収益合計	87,389	10,915
営業外費用		
支払利息	4,105	4,791
和解金	800	－
雑損失	162	58
営業外費用合計	5,068	4,850
経常利益又は経常損失（△）	△25,666	55,787
特別利益		
賞与引当金戻入額	58,752	29,032
貸倒引当金戻入額	－	133
役員退職慰労引当金戻入額	－	5,121
投資有価証券売却益	－	58
その他	6,125	3,345
特別利益合計	64,878	37,691
特別損失		
投資有価証券評価損	－	3,644
固定資産除却損	720	－
貸倒引当金繰入額	2,500	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	1,282
特別損失合計	3,220	4,926
税金等調整前四半期純利益	35,991	88,553
法人税、住民税及び事業税	10,967	3,618
法人税等調整額	9,135	4,982
法人税等合計	20,102	8,600
少数株主損益調整前四半期純利益	－	79,952
四半期純利益	15,888	79,952

【第３四半期連結会計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）
売上高	294,747	502,844
売上原価	227,937	386,200
売上総利益	66,810	116,643
販売費及び一般管理費	85,708	89,308
営業利益又は営業損失（△）	△18,898	27,335
営業外収益		
受取利息	649	177
受取配当金	82	32
固定資産賃貸料	195	195
助成金収入	1,002	207
持分法による投資利益	－	2,003
雑収入	－	45
営業外収益合計	1,929	2,661
営業外費用		
支払利息	1,257	1,502
和解金	800	－
雑損失	105	697
営業外費用合計	2,163	2,199
経常利益又は経常損失（△）	△19,133	27,796
特別利益		
賞与引当金戻入額	25,837	－
役員退職慰労引当金戻入額	－	3,248
その他	2,803	－
特別利益合計	28,641	3,248
特別損失		
固定資産除却損	720	－
貸倒引当金繰入額	2,500	－
特別損失合計	3,220	－
税金等調整前四半期純利益	6,287	31,044
法人税、住民税及び事業税	4,127	1,122
法人税等調整額	6,857	2,282
法人税等合計	10,985	3,405
少数株主損益調整前四半期純利益	－	27,639
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△4,697	27,639

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	35,991	88,553
減価償却費	46,198	29,098
のれん償却額	－	5,980
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△26	△125
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	1,030	△6,600
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△678	15,486
賞与引当金の増減額（△は減少）	△50,697	△42,876
受取利息及び受取配当金	△1,575	△1,170
支払利息	4,105	4,791
貸倒引当金繰入額	2,500	－
固定資産除却損	720	－
持分法による投資損益（△は益）	－	△5,045
投資有価証券評価損益（△は益）	－	3,644
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△58
売上債権の増減額（△は増加）	144,998	51,902
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,024	△6,135
仕入債務の増減額（△は減少）	△13,380	△407
未払消費税等の増減額（△は減少）	△626	8,866
その他の資産の増減額（△は増加）	11,200	30,077
その他の負債の増減額（△は減少）	△18,767	7,593
小計	158,968	183,575
利息及び配当金の受取額	1,575	3,180
利息の支払額	△4,261	△4,811
法人税等の支払額	△13,013	△16,395
営業活動によるキャッシュ・フロー	143,268	165,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△950	－
無形固定資産の取得による支出	△32,141	△35,548
投資有価証券の取得による支出	△4,851	△3,338
投資有価証券の売却による収入	－	201
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△97,747
貸付金の回収による収入	45	45
その他の支出	△28,687	△10,435
その他の収入	35,888	15,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,698	△131,398
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△37,500	30,000
長期借入れによる収入	90,000	－
長期借入金の返済による支出	△111,790	△38,210
自己株式の売却による収入	15	－
自己株式の取得による支出	－	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,274	△8,276
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	53,295	25,873
現金及び現金同等物の期首残高	256,513	322,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	309,809	348,809

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結会計期間(自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日)

	ソフトウエア関連事業(千円)	不動産事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	288,439	6,307	294,747	—	294,747
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	288,439	6,307	294,747	—	294,747
営業利益又は営業損失(△)	△609	4,091	3,482	(22,380)	△18,898

前第３四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日)

	ソフトウエア関連事業(千円)	不動産事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	930,418	17,749	948,168	—	948,168
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	930,418	17,749	948,168	—	948,168
営業利益又は営業損失(△)	△46,562	8,692	△37,870	(70,117)	△107,987

(注) １　事業区分は、事業の種類別により区分しております。

２　各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
ソフトウエア関連事業	ソフトウェアの開発・販売およびソフトウェア販売に付随するシステム商品の販売、受託によるソフトウェア開発(作成請負・アウトソーシングサービス)
不動産事業	マンション等の賃貸業

３　会計方針の変更

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、第１四半期連結会計期間より、親会社の不動産の賃貸に係る収益及び費用を売上高及び売上原価として計上する方法に変更しました。

当該変更により、当四半期連結会計期間における「不動産事業」の売上高(外部顧客に対する売上高)は3,692千円増加し、営業利益は2,168千円増加しています。

この結果、「連結」の売上高(外部顧客に対する売上高)は、3,692千円増加し、営業損失は2,168千円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結会計期間(自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日)並びに前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第３四半期連結会計期間(自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日)並びに前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至平成21年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

【セグメント情報】

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号　平成21年３月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日)を適用しております。

１　報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、プロダクツ事業、エンジニアリングサービス事業を主たる事業とするとともに不動産事業を展開しております。

当社グループは、「プロダクツ事業」、「エンジニアリングサービス事業」及び「不動産事業」の３つを報告セグメントとしております。

「プロダクツ事業」は、CAD/CAM/CAEのソフトウェア開発、販売及びソフトウェア販売に付随するシステム商品の販売をしております。「エンジニアリングサービス事業」は、技術者のアウトソーシングサービス及び受託開発を行っております。「不動産事業」は、マンションの賃貸業を行っております。

２　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	277,961	1,079,236	18,324	1,375,522	1,375,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	277,961	1,079,236	18,324	1,375,522	1,375,522
セグメント利益又は損失（△）	44,201	△2,000	7,522	49,722	49,722

（注）　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第３四半期連結会計期間(自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	91,718	404,888	6,237	502,844	502,844
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	91,718	404,888	6,237	502,844	502,844
セグメント利益	6,436	18,423	2,475	27,335	27,335

(注)　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。